

2022年3月期 通期 連結決算ハイライト

1. 連結業績概要

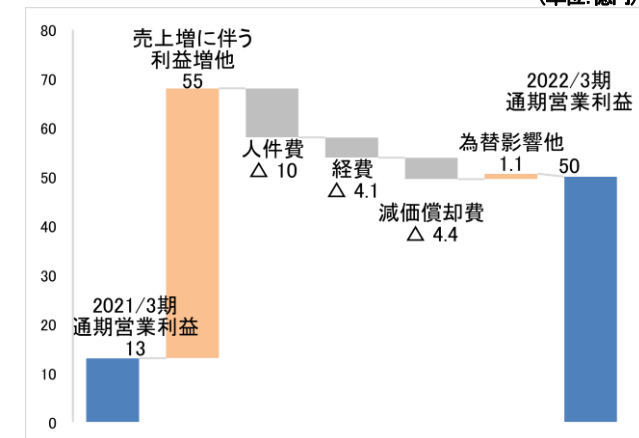
通期業績	実績	
	2021/3期 通期	2022/3期 通期
売上高	84,720	104,024
営業利益 (営業利益率)	1,315 (1.6%)	5,042 (4.8%)
経常利益 (経常利益率)	874 (1.0%)	4,836 (4.6%)
親会社株主に帰属する当期純利益 (純利益率)	104 (0.1%)	1,897 (1.8%)
自己資本当期純利益率(ROE)	0.2%	3.3%
自己資本比率	36.3%	36.3%
純有利子負債(有利子負債-現預金)	36,462	34,110
設備投資	8,128	6,752
減価償却費	8,790	9,240
研究開発費	1,971	1,934
連結子会社数	33	33
為替レート(1USD/円)	103.50	115.02
為替レート(1ユーロ/円)	126.95	130.51

前年度比	
増減額	増減率
19,303	22.8%
3,726	283.2%
3,962	453.2%
1,793	-
3.1%	-
-	-
△ 2,351	△ 6.4%
△ 1,375	△ 16.9%
449	5.1%
△ 36	△ 1.9%
0	-

 ・左記が替レートは
各期12月末TTMレート

予想	
2023/3期 第2四半期	2023/3期 通期
52,500	108,000
1,550	3,500
1,450	3,300
750	1,700
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
115.00	
130.00	

<<連結営業利益の増減要因>>



<<配当・配当性向>>

	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期 (予定)
中間	15円	* 20円	10円	10円	10円
期末	15円	15円	10円	予定 15円	15円
年間	30円	35円	20円	予定 25円	25円
配当性向	32.0%	60.1%	888.7%	61.4%	68.4%

※ 2020/3期中間配当・・・普通配当(15円)+記念配当(5円)

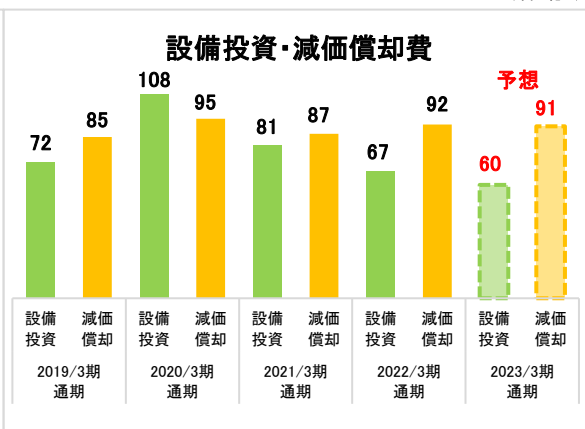
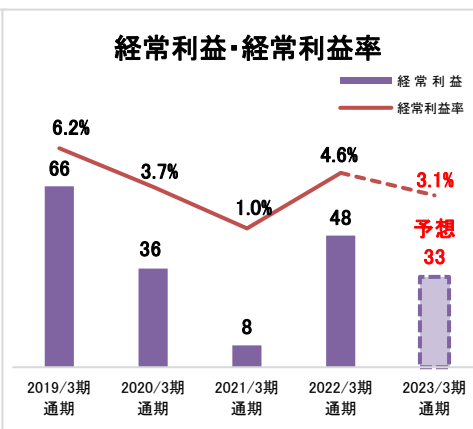
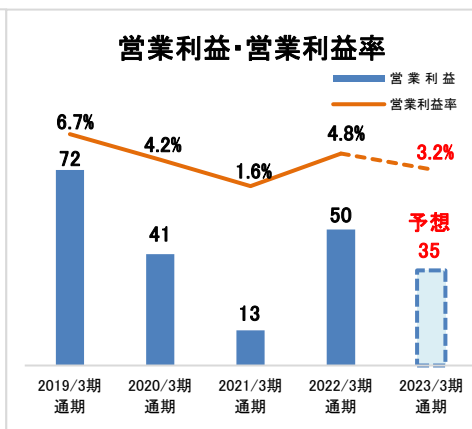
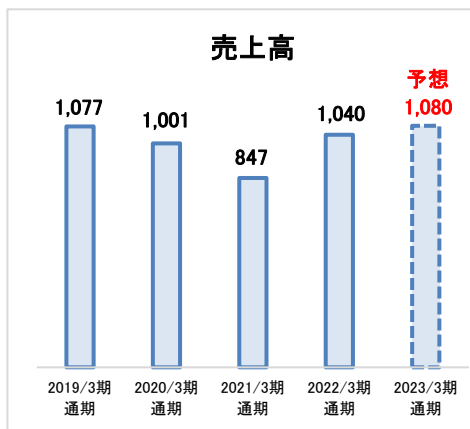
2. 連結業績/設備投資・減価償却費 推移

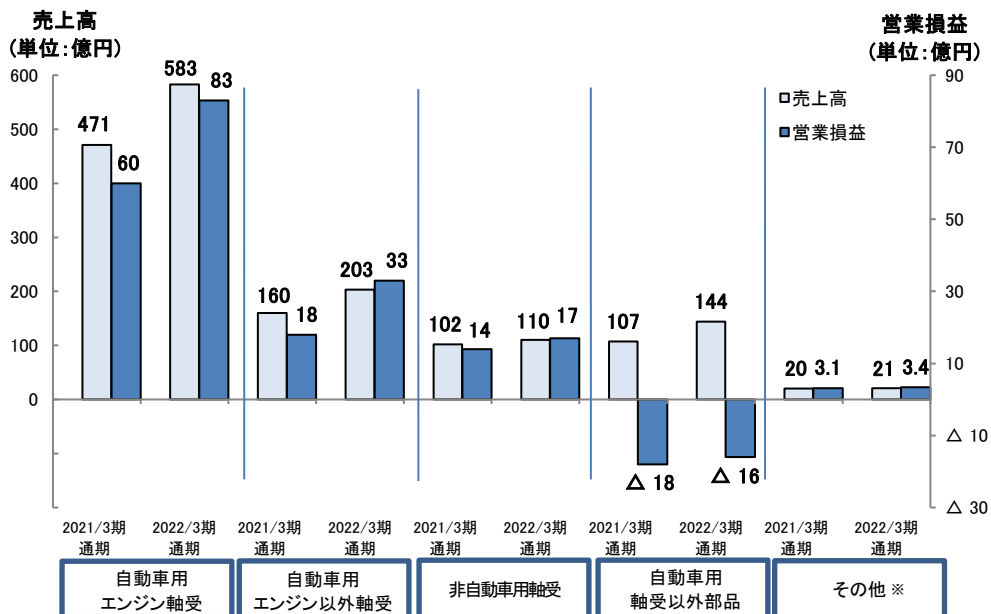
(単位: 億円)

(単位: 億円)

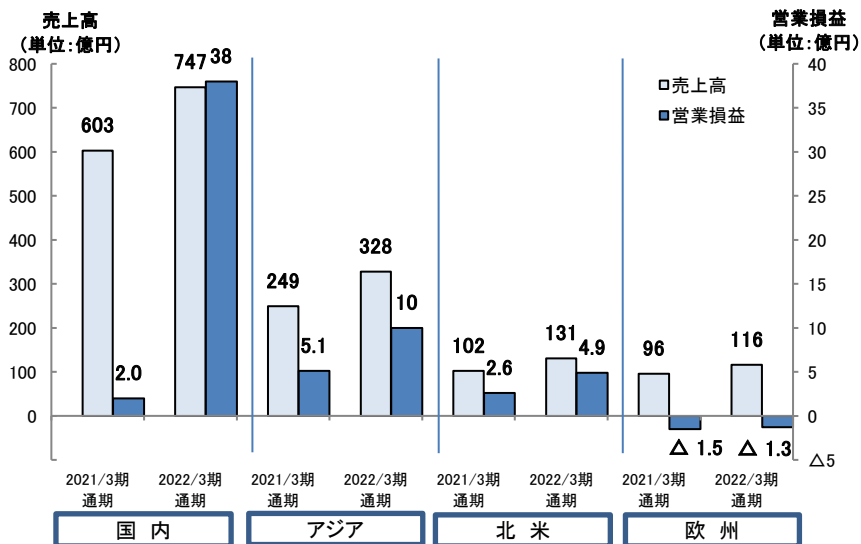
(単位: 億円)

(単位: 億円)



3. セグメント別情報 / 売上高・営業損益(セグメント間消去前)


※「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無間隙軸受事業、ポンプ関連製品事業、不動産賃貸事業等を含んでいます。

4. 所在地別情報 / 売上高・営業損益(内部取引消去前)


(注) 業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

セグメント	【売上高】		増収要因 △減収要因 (単位:百万円)	【営業損益】	
	売上高構成比	前年度比		増収要因	△減収要因
自動車用エンジン軸受	54.9%	11,241 (23.8%)	◎日本: 乗用車では半導体供給不足等による需要の伸び悩みがあるものの新規開拓に伴う受注増 ◎日本: 輸出用トラック向け(東南アジア向け等)のコロナからの回復による受注増 ◎海外全地域でのコロナからの堅調な回復による受注増	2,327 (38.5%)	◎国内外のコロナからの回復に伴う増収による影響
自動車用エンジン以外軸受	19.2%	4,375 (27.3%)	◎半導体の供給不足等による需要の伸び悩みがあるものの世界的な自動車部品メーカーのコロナからの回復による受注増	1,509 (82.5%)	◎国内外のコロナからの回復に伴う増収による影響
非自動車用軸受	10.4%	784 (7.6%)	◎船舶分野: 国内船用業界の需要落ち込みの影響はあるものの継続的な中国向けの新規開拓に伴う受注増の下支え等 ◎建設機械分野: 建設機械関連向けのサービスパーツや発電機等の需要増加による受注増 △エネルギー分野: 水力発電用軸受ユニットの新規受注等があったもののガスタービン・蒸気タービン用軸受の受注減	291 (20.0%)	◎建設機械分野他の増収による影響 △エネルギー分野の減収に伴う影響
自動車用軸受以外部品	13.6%	3,706 (34.5%)	◎飯野グループ: 半導体不足の影響を受けるもコロナからの堅調な回復が下支えとなり微増 ◎アルミダイカスト製品: タイの自動車関連のコロナからの回復及び電動自動車用アルミダイカスト製品の新規納入による受注増	202 (11.0%)	◎飯野グループ: コロナからの回復に伴う増収、生産性向上・合理化努力による利益改善の影響 ◎アルミダイカスト製品: タイのコロナからの回復に伴う増収、労務費等の削減努力による利益改善の影響
その他	2.0%	78 (3.8%)	◎工作機械・各種産業機械や建設機械等の需要増による特殊軸受の受注増	24 (7.8%)	
セグメント間消去		△ 882		△ 629	
全体合計:		19,303 (22.8%)		3,726 (283.2%)	

地域	【売上高】		増収要因 △減収要因 (単位:百万円)	【営業損益】	
	売上高構成比	前年度比		増収要因	△減収要因
国内	56.5%	14,438 (23.9%)	◎自動車関連のコロナからの回復や乗用車の新規開拓に伴う受注増 ◎輸出用トラック向け(東南アジア向け等)のコロナからの回復による受注増 ◎産業機械・油圧機器向けなどのコロナからの回復による受注増 ◎建設機械分野: サービスパーツの継続的な需要増加による受注増	3,617 (-)	◎自動車関連のコロナからの回復に伴う増収による影響 ◎飯野グループ: コロナからの回復に伴う増収等の影響
アジア	24.8%	7,834 (31.4%)	◎中国: 自動車日系メーカーの半導体供給不足等による需要の伸び悩みがあったものの中国ローカル向け的好調による受注増 ◎タイ: 自動車関連のコロナからの回復による受注増及び電動自動車用アルミダイカスト製品の新規納入による受注増	529 (103.0%)	◎中国: 自動車関連のコロナからの回復に伴う増収による影響 ◎タイ: コロナからの回復に伴う増収、労務費等の削減努力による利益改善の影響(自動車関連及びアルミダイカスト製品)
北米	9.9%	2,901 (28.3%)	◎自動車関連のコロナからの回復による受注増 ◎建設機械分野: 継続的な需要回復による受注増	229 (85.3%)	◎自動車関連のコロナからの回復に伴う増収による影響
欧州	8.8%	1,985 (20.5%)	◎自動車関連のコロナからの回復による受注増 ◎非自動車用軸受(中・高速ディーゼル用等)の開拓による受注増	20 (13.2%)	
内部取引消去		△ 7,857		△ 670	
全体合計:		19,303 (22.8%)		3,726 (283.2%)	